

平成29年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イをともに満たす生徒

ア 学習成績が優秀である

イ 部活動を含めた学校生活全般に意欲的に取り組む

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	時間50分・字数600字以内

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	必修教科の評定の合計値を算式1で求めた数値で評価する。
イ 選択教科の評定	評価の資料とはしない。
ウ 出欠の記録	特に欠席の多い場合は、評価の資料とする（数値化しない）。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動等ですぐれた実績を有する者は評価の資料とする（数値化しない）。

(3) 作文

評価項目	評価基準
ア 適切な文章量で、誤字がない。また、わかりやすい構成になっている。	複数の採点者で、A～Cの評価をする。
イ 論旨が明確である。	
ウ 文章表現力が豊かで、読み手に感銘を与える。	

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「作文」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

① 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつける。

② 総合計点と作文の評価及び調査書等の記載内容を参考にしながら、総合的に選抜する。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者内定者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率をこえていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業生については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。

平成29年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 85

千葉県立佐原高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次のア～ウをすべて満たす生徒

ア 理数系分野への興味・関心が特に強い

イ 学習成績が優秀である

ウ 部活動を含めた学校生活全般に意欲的に取り組む

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 作文	時間50分・字数600字以内

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	国語，社会，英語はそれぞれ100点満点，数学，理科はそれぞれ150点満点に傾斜配点して合計600点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	必修教科の評定の合計値を算式1で求めた数値で評価する。
イ 選択教科の評定	評価の資料とはしない。
ウ 出欠の記録	特に欠席の多い場合は，評価の資料とする（数値化しない）。
エ 特別活動の記録，部活動の記録及び特記事項	部活動等ですぐれた実績を有する者は評価の資料とする（数値化しない）。

(3) 作文

評価項目	評価基準
ア 適切な文章量で，誤字がない。また，わかりやすい構成になっている。	複数の採点者で，A～Cの評価をする。
イ 論旨が明確である。	
ウ 文章表現力が豊かで，読み手に感銘を与える。	

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき，「学力検査の成績」，「調査書」，「作文」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

① 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつける。

② 総合点と作文の評価及び調査書等の記載内容を参考にしながら，総合的に選抜する。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には，選抜資料に加える。ただし，提出されたことにより，不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者内定者のうち，隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が，細部協定書の示す制限比率をこえていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業生については，第2日の検査終了後，別途個人面接を行う。

